

大阪・まち・再発見 ぶらりウォーク



大阪の水源をめぐる 約9km

2018年
9/22
(土)

【コース説明】

谷町四丁目駅からスタートし、大阪城公園に入る。大手門・桜門を通って天守閣の東側にあるのは、大手前配水池だ。大手前配水池は、1895年に完成し、今なお健在だ。大阪市内で一番高い上町台地から自然放流することで、各家庭に水を送り続けている。

天守閣から極楽橋、京橋口を経て大川沿いへ入る。この桜並木は有名で、春の開花時期には、多くの市民や観光客でにぎわう。JR 大坂環状線の高架をくぐり、都島橋付近には大阪市水道発祥の地碑がある。水質が悪い大阪で、良好な飲料水の提供と消防力強化のために上水道が設置されることになり水源地として指定されたのが、桜宮水源地で、ここから大手前配水池へ水が送られた。

北へ進むと淀川の堤防へ上がっていく。堤防に上がった所に与謝蕪村の生誕地碑があり、西側に大きな水門があるが、毛馬閘門だ。淀川から大川への水量調整と水位調整を行う。少し先に行くと旧毛馬閘門も残されており、国の重要文化財だ。

長柄橋で淀川を北へ渡るとすぐにレンガ造りの立派な建物が目に入る。大阪市水道記念館だ。大阪市水道通水100周年記念事業として、水道の歴史やしくみ、水道水源環境に関する知識の普及啓発を図るために、柴島浄水場の旧「第1配水ポンプ場」を保存活用し、1995年11月に開館したものだ。開館は、土日祝日の10時から16時にされている。

記念館を過ぎるとゴールの西中島南方駅まで1kmほどだ、がんばろう。

